

COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の感染蔓延による 『ココロノケモノ』公演延期のお知らせ

2020年4月8日

いつも応援ありがとうございます。COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の感染蔓延及び、それに伴う社会情勢に鑑み、

2020年5月20日（水）～24日（日）

で予定しておりました『ココロノケモノ』の公演を

2021年（来年）11月17日（水）～21日（日）

に延期します。会場は変わらず、「劇場MOMO」を予定しております。

既に頂いたご予約は、システムの都合上、一度キャンセル扱いとさせていただきます。延期後の公演にて、再度ご予約いただければ幸いです。

* * *

「公演中止を常に選択肢に挙げつつ、上演の実現に最大限努力する」姿勢で、様々模索して参りましたが、以下5つの理由から、当初の日程での上演が困難と判断しました。

①東京都での感染者数が急増しており、医療崩壊の危機が迫っているとの報道があります。他国のような事態に陥れば、万が一、座組で集団感染が起きた場合、死亡者が出るなど、取り返しのつかない結果を招きかねません。

②稽古場利用している施設が相次ぎ閉鎖されており、稽古時間の不足が予想されます。限られた時間の中で力を尽くすのは当然ですが、感染リスクに曝される中、出演者・スタッフにそれを強要するのは本意です。

③2020年4月7日、政府より緊急事態宣言が発令されました。これに伴い、東京都における劇場での演劇公演も、休止要請の対象となります。この状況下での宣伝活動は、出演者に大きな負担となり、また、心無い非難を受ける事も危惧します。出演者・スタッフの、この先の芸術活動に支障をきたす事態は避けなければいけません。

④各国の状況を総合するに、1か月後、日本の感染状況が劇的に改善する見込みは薄いと考えます。判断を先延ばしにし、上演を前提とした稽古を続行する事は、関係者の心理的・経済的リスクを高めると考えます。

⑤公演に際し、感染症対策を様々検討しましたが、専門家でない私達に出来る事は限られます。来場されるお客様に、安心・安全な観劇環境を確保するには力不足と考えます。

* * *

楽しみにして下さった皆様には、このようなお知らせをする事となり、心苦しく思います。至る所で「お詫び申し上げます。」の言葉が飛び交い、目にするのも辛いというお声も目にします。延期後の公演も、なるべく同じ形でリベンジできるよう模索しています。また、劇団ではこれを好機と捉え、劇場公演でない新たな試みを企画中です。状況次第では、新たな公演の可能性も……ですから、「お楽しみに！」

劇団ミックスドッグス代表、作家、演出家 奥田悟史